

# スマートフォン iPhone応用編



浸水ナビを使って  
水害シミュレーションを  
見てみよう

# 目次

## 1. 浸水ナビを知りましょう

- 1-A 浸水ナビとは.....P2
- 1-B 浸水ナビでできること.....P3

## 2. 浸水ナビの準備をしましょう

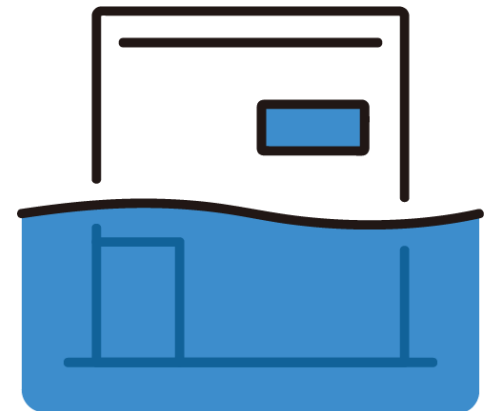
- 2-A 浸水ナビを検索しましょう.....P5
- 2-B 浸水ナビをブックマークしましょう.....P8
- 2-C 浸水ナビをホーム画面に追加しましょう.....P12

## 3. 浸水シミュレーションを活用しましょう

- 3-A 浸水シミュレーションの条件.....P15
- 3-B 想定破堤点を調べよう.....P16
- 3-C 浸水想定を調べよう.....P19
- 3-D 河川の水位情報を調べよう.....P23
- 3-E よくあるご質問.....P24
- 3-F 問い合わせ先.....P25

1

浸水ナビを知りましょう

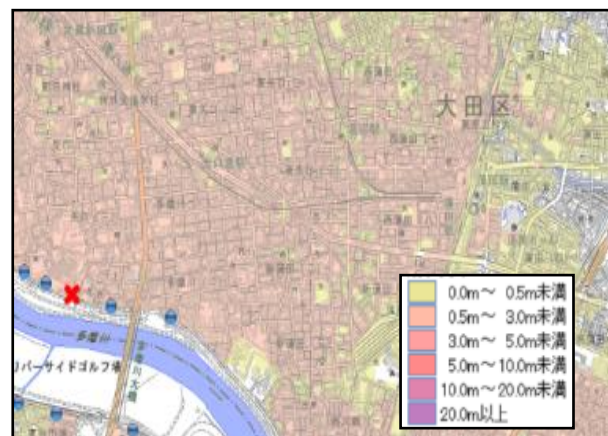


「浸水ナビ」とは、検索した地点や河川の浸水シミュレーションを地図上に表示するウェブサイトです。



洪水時の被害を最小限にするためには、住民のみなさん一人一人や企業などが平時より水害による被害のリスクを認識した上で、氾濫時の危険箇所についての情報を知っていただくことが何より重要です。

国土交通省では、国や都道府県が行った、河川の浸水シミュレーションの結果を「浸水ナビ」として公表しています。



- ・ どの河川でどの場所が決壊<sup>はてい</sup>(破堤)したら  
ご自宅や会社が浸水してしまうのか知ることができます。
- ・ 堤防決壊<sup>はてい</sup>(破堤)後、どこが、いつ、どの程度浸水するのか  
変化をアニメーションやグラフで見ることができます。
- ・ 大雨の際にどこの水位観測所を見ておけばよいのかが  
わかります。また、現在の水位がわかるホームページにも  
リンクしています。

浸水ナビを利用して  
身のまわりの水害リスクを確認しておきましょう

(実際の使い方は後でお話します)

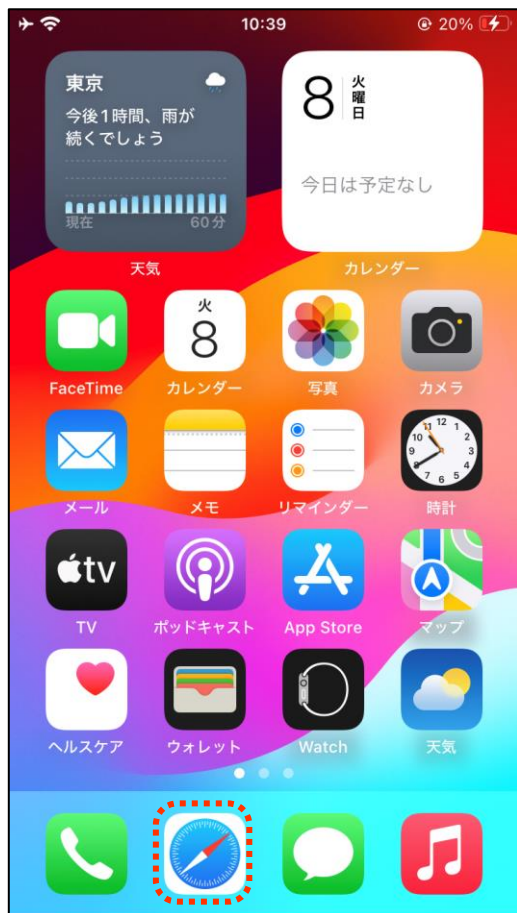
## 2 浸水ナビの 準備をしましょう

## 2-A

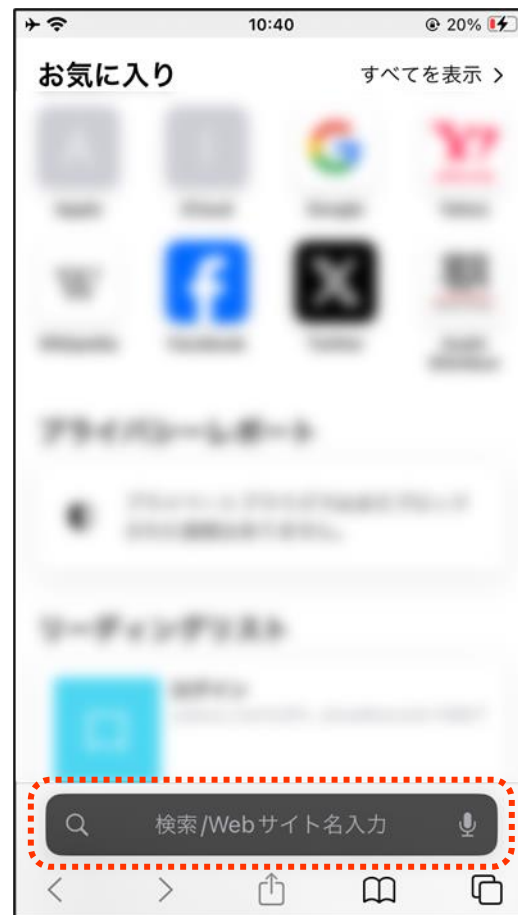
# 浸水ナビを検索しましょう

浸水ナビのサイトを検索します

① Safari  をダブルタップします



② 検索用の枠をダブルタップします(赤枠内)



## 2-A

# 浸水ナビを検索しましょう

浸水ナビのサイトを検索します

- ③ 検索ボックスをダブルタップして「浸水ナビ」と入力します



- ④ 「開く」をダブルタップします





## 浸水ナビのサイトを検索します

5 検索結果から「浸水ナビ」を  
ダブルタップします



6 浸水ナビのサイトが  
表示されます



## 浸水ナビをブックマークしましょう

① 画面下部の四角に上向きの矢印がついたマークをダブルタップします



② 「ブックマークを追加」をダブルタップします(赤枠内)



浸水ナビをブックマークしましょう

③ 「保存」をダブルタップします



ブックマークしたページを開きましょう

① 画面下部の本のマークをダブルタップします



② 開きたいページをダブルタップします



ブックマークしたページを開きましょう

③ 見たい画面が表示されます



## 浸水ナビをホーム画面に追加しましょう

① 画面下部の四角に上向きの矢印がついたマークをダブルタップします

② 「ホーム画面に追加」をダブルタップします

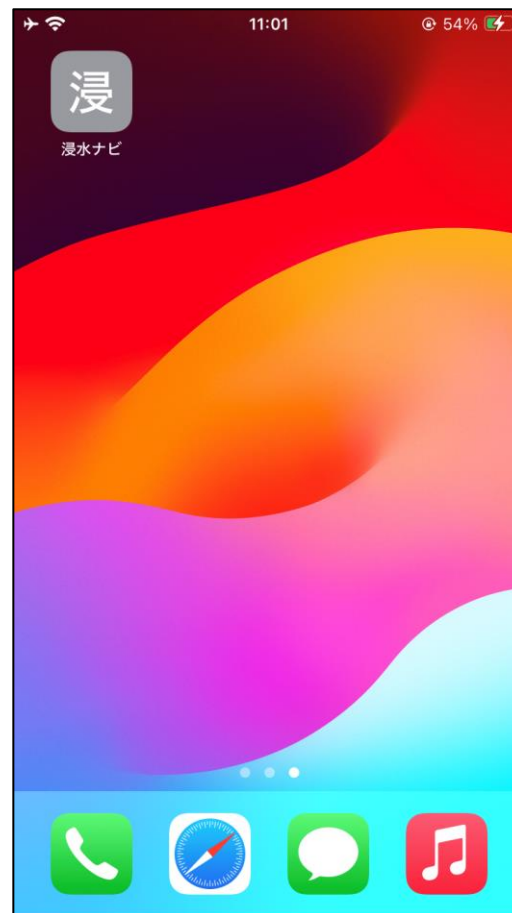


浸水ナビをホーム画面に追加しましょう

③ 「追加」をダブルタップします



④ ホーム画面に追加されます



# 3 浸水シミュレーションを 活用しましょう



「浸水ナビ」で表示する浸水シミュレーションの結果は、想定し得る最大規模の降雨などにより、仮に堤防が決壊した場合や川の水が堤防などを乗り越えてあふれ出した場合の浸水域の広がりや浸水深の変化を示すものです。

#### 注意点

- 浸水ナビでは、浸水シミュレーションデータが掲載されている河川のみ検索可能です
- 浸水ナビは浸水シミュレーションのデータを編集等せずに掲載しているため、国や都道府県が公表している図面と差異が生じている場合があります
- 想定される降雨を超えた大雨となった場合などには、氾濫の広がり方等がシミュレーションで表示されるものとは異なる場合があります

浸水ナビを使って身近な場所の想定破堤点を確認してみましょう

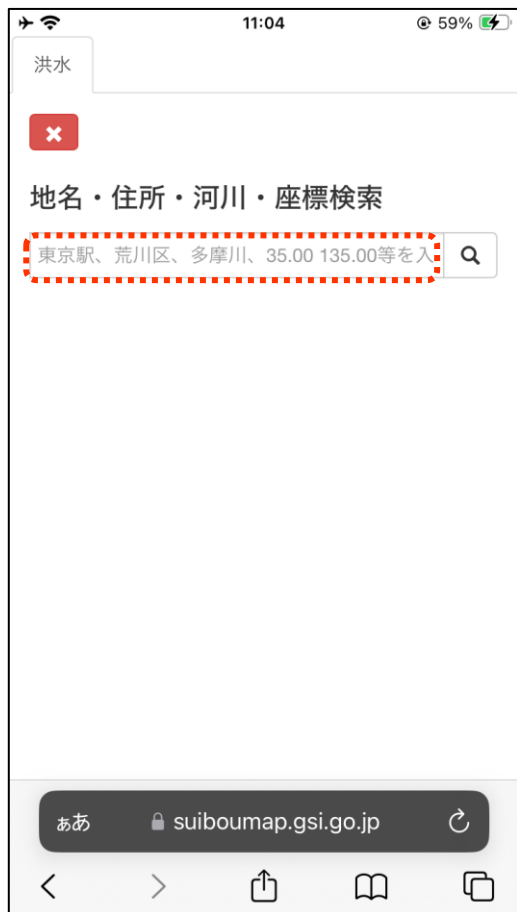
① 「浸水シミュレーションを確認する」  
をダブルタップします

② 画面左上の横三本線の  
マークをダブルタップします



浸水ナビを使って身近な場所の想定破堤点を確認してみましょう

③ 検索窓をダブルタップします



④ 「多摩川」と入力し虫眼鏡のマークをダブルタップします



※この検索では、  
・駅等の地名  
・市区町村名  
・河川名  
・緯度経度  
など様々な条件で  
検索ができます

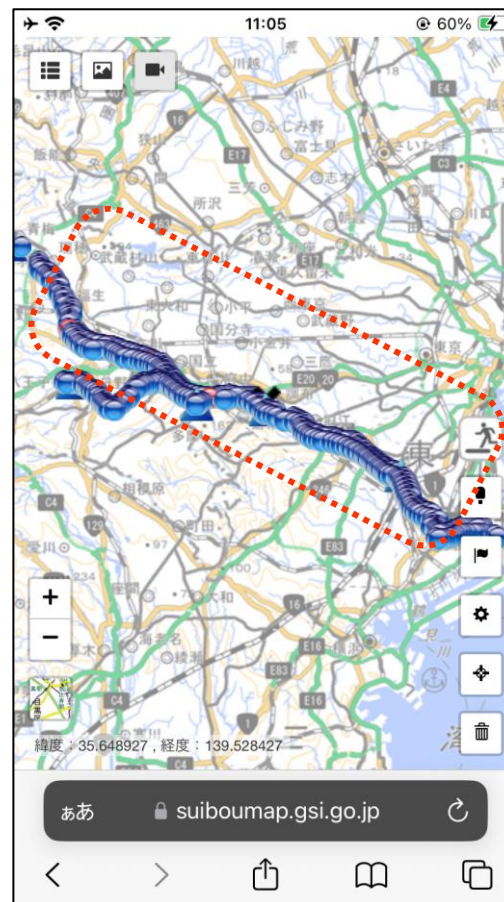
浸水ナビを使って身近な場所の想定破堤点を確認してみましょう

5 調べたい場所の「表示」をダブル  
タップします



※ここでは河川名  
で検索しているため、河川の想定破  
堤点が全て表示さ  
れています

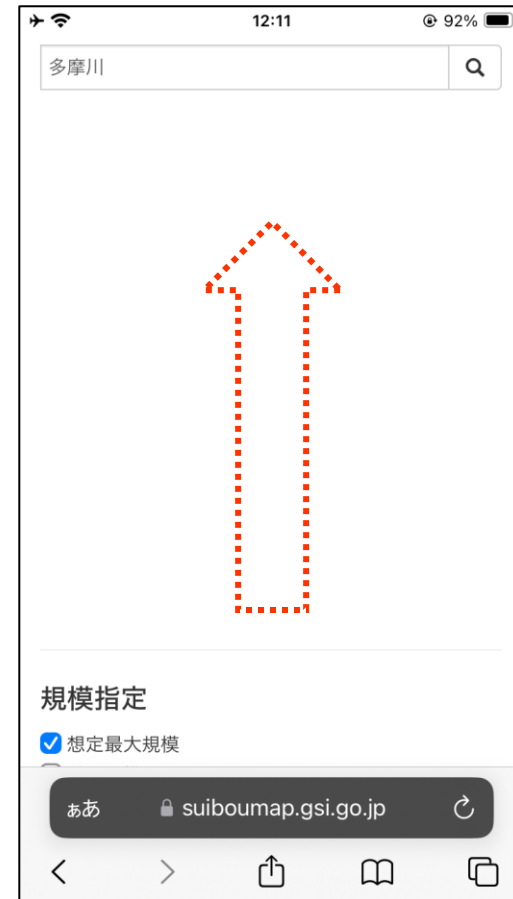
6 想定破堤点が表示されます



※二本の指で  
開いたり閉じ  
たりすること  
で地図を拡  
大・縮小するこ  
とが可能です

調べた想定破堤点が破堤した場合の浸水想定を確認してみましょう

- 1 破堤点を表示した状態で左上の横三本線のマークをダブルタップします
- 2 画面を下から上にスクロールします



調べた想定破堤点が破堤した場合の浸水想定を確認してみましょう

③ 一覧の中から浸水想定を見たい破堤点をダブルタップします



④ チェックマークが入ったことを確認し上から下にスクロールします



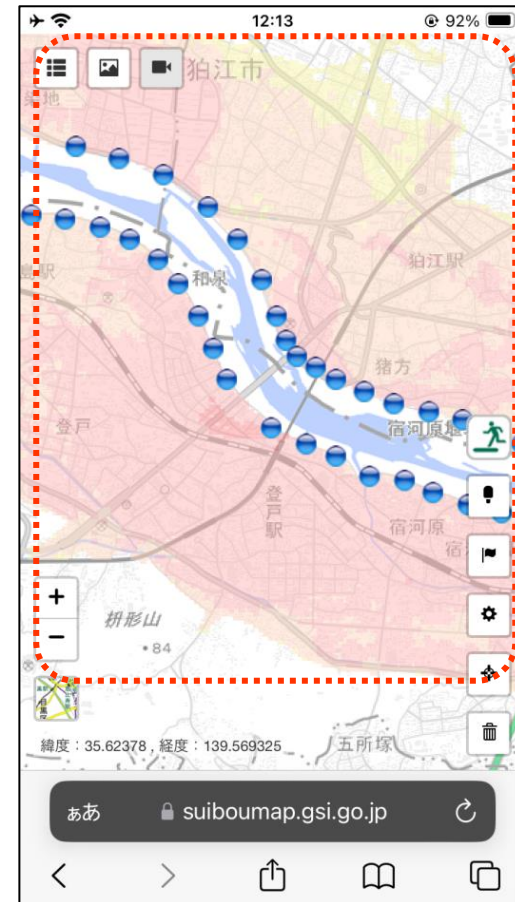


調べた想定破堤点が破堤した場合の浸水想定を確認してみましょう

- ⑤ 左上のバツ印をダブルタップします



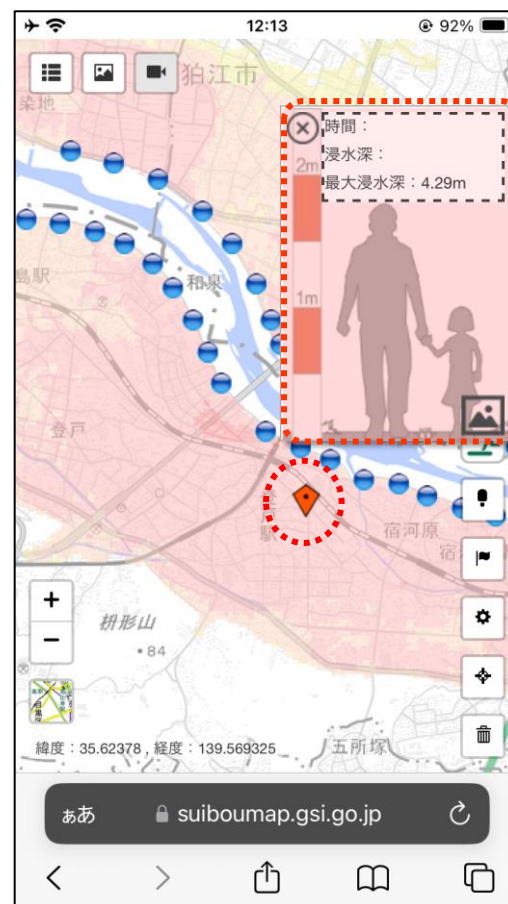
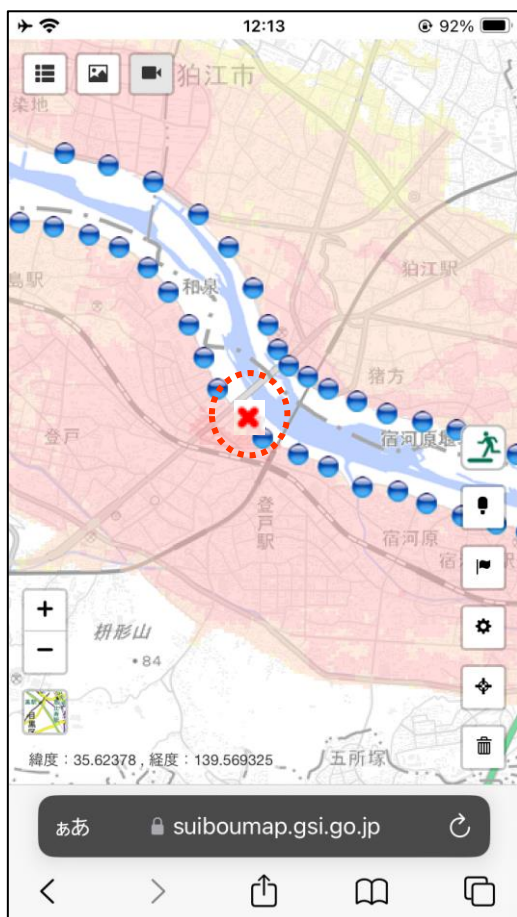
- ⑥ 浸水想定がグラデーションで表示されます



※色が赤い  
ほど水深が  
深いという  
ことを表し  
ています

調べた想定破堤点が破堤した場合の浸水想定を確認してみましょう

- ⑦ 地図上で破堤点をダブルタップするとその地点の浸水想定を見ることができます
- ⑧ 地図をダブルタップするとその地点の水深を確認することができます





ここまで調べてきた河川の現在の水位情報を確認してみましょう

- ① 確認したい破堤点をダブルタップします



- ② 「現在の水位状況(川の防災情報ヘリンク)」をダブルタップします

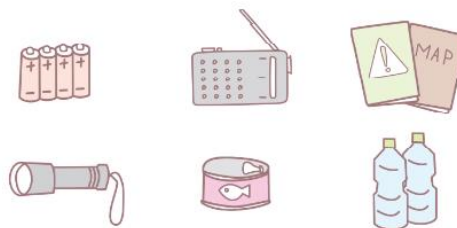


※遷移後の状況については「川の防災情報」ご担当者へご確認お願いいたします

○住んでいる市区町村から配布されたハザードマップとは異なる情報が表示されます。どちらが正しいのでしょうか？

⇒「浸水ナビ」は、国や都道府県の機関が作成した浸水シミュレーションの結果をまとめたウェブサイトですが、**最新の情報ではない可能性**があります。

⇒ 洪水のリスクに関する最新かつ詳細な情報については、必ず**市区町村が作成するハザードマップ**をご確認ください。



浸水ナビホームページ

<https://suiboumap.gsi.go.jp/>

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室

国土交通省 国土地理院 応用地理部 地理情報処理課

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番

(代表電話) 029-864-1111